

第2回しもすわ男女共同参画推進委員会

■日 時 平成22年11月9日(水)19:00

■場 所 下諏訪町役場4階 講堂

・出席者 委員19人
事務局2人

・配布物 ①次第
②第4次下諏訪町男女共同参画行動計画素案（事前に郵送配布）

1 開 会

○副委員長 皆さんこんばんは。ただ今から、第2回しもすわ男女共同参画推進委員会を開会いたします。最初に会長からご挨拶をお願いします。

2 委員長あいさつ

○委員長 皆さん、こんばんは。寒い中お集まりいただきありがとうございます。来年度に向け、第4次計画の策定を行っています。男女共同参画というのは、中々浸透しにくいことです。この会議の中で話し合い、委員の皆さんに理解して欲しいと思います。今年は御柱の年でありお忙しいことと思います。来年度には落ち着くかと思しますので、今後も推進委員会をよろしく願いいたします。

今日の委員会ですが、前回に引き続き「第4次男女共同参画行動計画について」を議題といたしました。事務局から若干の経過説明をしてもらい、そのあとグループに分かれての意見交換を行いたいと思いますのでよろしくお願い致します。

3 議事 第4次男女共同参画行動計画について

○委員長 それでは事務局から説明をお願いします。

○本日は、委員の皆さんお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。事務局から若干の説明をさせていただきます。過日「いきいきパートナーシップしもすわIV」の素案をお送りしましたが、前回の委員会で皆さんからいただいたご意見を反映させたものになっています。前回皆さんからの意見を要約すると次のとおりです。

- ① アンケート結果のグラフが見つらいので、分かり易く改善して欲しい。
- ② 人口減少時代であり、男女問わず働かなくてはいけないということが重要。
- ③ 高齢化社会になり、お互いに認め合い、家庭内で協力し合うことが大事。
- ④ 家事、育児は各家庭で考えが違うので、工夫しながらやっていくことが必要。
- ⑤ 雇用の分野における男女の均等な待遇が重要。
- ⑥ 女性の良い面、男性の良い面、それぞれ活かしながら適材適所でやっていけば男女平等になる。
- ⑦ 仕事と生活のバランスが釣り合えば良い。
- ⑧ 第2章「計画の体系」が唐突すぎる。第1章の「計画の趣旨」をもう少し膨らませると良いのでは。
- ⑨ 計画全体が広範囲すぎて分かりづらいので、もう少し絞り込んだ方が良い。

- ⑩ 町で何を重点にするか決めた方が良い。
- ⑪ 地区での取り組みが大事。また、女性が活動に参加・参画することが大切。
- ⑫ 若い頃から男女共同参画の教育をすれば変わっていく。
- ⑬ 職場での取り組みが重要である。
- ⑭ おもてには出ないがDV被害者はとても多い。身近な問題として捉える必要がある。そのほかにも、たくさんのご意見をいただきました。

本日の推進委員会が最終の策定委員会となり、本日いただいたご意見を踏まえて事務局で素案をまとめます。今後は、まとめた素案を男女共同参画社会づくりに関して識見を有する方で組織される「男女共同参画審議会」で十分審議していただき、今年度中に計画策定の運びとなります。

内容について「この部分は表記がおかしい」「こうした方が分かり易い」等のご意見をどしどしいただければ有り難いと思います。事務局からは以上です。

■グループ討議

○委員長 それでは、皆さんすでに資料を熟読させていただいてると思います。人数がたくさんだと意見も出しづらいでしょうから、2グループに分かれて意見を出し合っていきたいと思いますのでよろしくお願いします。時間は1時間取りたいと思います。進行は正副会長が行います。記録は事務局の2人が担当し、意見交換終了後発表してもらいます。先程事務局の説明にもありましたが、第4次行動計画の素案について「表記がおかしい」「こうした方が分かり易い」等のご意見をいただきたいと思います。

- ・グループA 団体選出委員、1区～3区委員（進行/副委員長、記録事務局）
- ・グループB 6区～10区委員（進行/委員長、記録事務局）

■意見発表

○米山委員長 どうもありがとうございました。取りまとめをした事務局の方から、発表をお願いします。

<グループA>

○総体的には、この計画を実施していけば良い。男女がお互いに認め合うことが必要。女性は家庭をいかにクリア出来るか。高齢者にどのように浸透させられるかが大事。自分の地区でも後れているところがあるので啓蒙していきたい。

○男女共同参画に対する意識が変わってきた。女性が地域の行事に参加参画することは大事だが、行事が多すぎて負担になっている。自分の会に情報を流していきたい。自分自身、子育てが終わり、今後は介護が問題になってくると思う。男女みんなで協力し合っていくことが重要。

○計画が幅広くなりすぎている。男性も女性も上手に話し合い、理解し合うことが大切。男女共同参画は、まず身近からやっていき社会に広がるもの。そうでないと散漫してしまう。

○一つ大きい役になると、いくつもの役が回ってきてとても大変。グラフは見やすくなった。22頁に「介護サービスの充実を図り、介護の負担が家族に集中しないよう取り組みを進めます」とあるが、現在はサービスを受けづらくストレスがたまってしまい、ケアマネ

ージャーに相談している。介護する人が参ってしまうので、そのサポート体制が必要。

○みんなが男女共同参画を考えるのはとても良いことで、最近子育てに男性が関わってきている。町内にある様々な団体が多すぎるので一考を。介護については、男性が絶対に必要な部分がある。ただ、介護される側のプライドもあるので、そのへんを気を付けなくてはいけない。

○男性も介護に、と言っても男性は外での仕事中心になってしまう。したがって女性の役割になる。男女が同じ立場にというのは難しく、絶対平等にはなりえない。今の若者は、育休も取れるし、家庭内では男性も手伝っている。男女共同参画と言うものは広範囲で考えることだろう。

○この計画は内容が広すぎて焦点が合わない。実現すれば良いことだが、個人の意識が大切。役所の課題が多すぎて、現実的に行政がどこまで出来るか。5年間を段階的に、重点的に絞った方がよい。男女共同参画のどの部分を、例えば家庭内暴力だとか、介護だとか、若者の雇用だとか。

○女性が働くことについて、ネックは育児と介護。女性の方がネックがありすぎる。グラフの16年と21年の比較が分かり易くなった。16年は男女平等を唱えていた。女の子らしく、男の子らしくといった考えは逆に増えている。性に応じた躰や教育へと意識が変わっている部分もあると推察される。

○「計画推進のためにⅠ～Ⅲ」で、「何々を行います」とか「何々を支援します」とかあるが、実際目に見えてこない。目に見えるようなものにしたほうがいいか。

○そのほか、意見多数。

<グループB>

○男女共同参画は必要なときに自然とそうなるのでは。

○グラフが素案より見やすくなった。パッと見てわかるし、16年と21年で比較ができる。丁寧な言葉遣いも良いと感じた。

○ある程度の年齢をいった人には、男女共同参画は難しいのでは。計画に「男女共同参画についての教育を推進する」とあるが、そういった教育は行われているのか。

→(委員長) 学校では、授業でビデオを見て教育を行っている。

→(委員) 小さいうちから男女共同参画を教育していかないと、いきなりは難しい。私の家では、お互い言葉では言わないが家庭内で協力し合いながら今までやってきた。そういうことも男女共同参画だと思う。また、企業の中でどのように扱っていくのかも問題となる。経済的な基盤がないと難しい。この計画の中には宗教の問題が全く出てきていない。日本では大きな問題とならないが、宗教抜きでは難しい。

○8ページ「7 基本理念」、9ページ「8 計画の重点項目」を前に持ってきて、どのようなことをやるのかを最初に示すと見やすいと感じた。2・3ページ「2 町民意識の動向」のグラフをその後を持ってくると分かりやすいのではないかと。また、計画にも載せてあるがDVなどの問題もある。相談する連絡先などを載せると良いのでは。

○小学生には、SOSカードが配られている。そういった意味で小学生は保護されているし、子どもの頃から教育されている。高齢者が参画することの配慮はどうするのか。高齢者は固く考えがちであるし、無理して掘り下げる必要はないのではないかと。子どもは自分たちより先を行っているし、ある意味で先に男女共同参画している。私は、女性は良妻賢母の方が楽に生きていけると思う。女性は無理に外に出る必要はないと思うので、そこは

考え直した方が良い。選挙のときに、世帯主の名前が載る。選挙の対象者に対しても主だけでなく、男女両方の名前を載せるなど考えることができると感じた。質問だが、DVはどのように保護するのか。

→（委員長）下諏訪町にも相談体制はある。岡谷には、県の施設のあいとぴあもある。保護はプライバシーもあり、難しい問題である。

○1 ページ 13 行目の段落、「しかしながら～」は主に家庭の中の状況が示されている。最後の行に多様な働き方とあるが、職場や地域のことなども触れれば良いと思う。3 ページの上のグラフは選択肢 1 が男女ともに一番多い。文章を「平成 16 年、21 年男女ともに」としても良いのでは。7 ページ「4 計画策定の特色」は、具体性を出して、もっと下諏訪町としての特色とした方が良いのでは。10・11 ページの計画の体系と 12 ページ以降の計画の内容のつながりが分かりにくい。計画の体系にページ数を入れてもらえると良いのでは。職場で男女共同参画を進めていくのは難しい。下諏訪町の企業にも理解してもらわないとならない。22 ページ施策 1 の③は、「企業の模範となるよう」ということなので、町として対策を考えていって欲しいと感じた。24 ページ施策 4 の①には男性の地域活動について書かれている。地域の意思決定の場に女性も参画するということを加えた方が良い。

○20 ページの 2 番目のグラフは、女性の立場についてのグラフとなっている。今は男性も正規雇用が少なくフリーターという立場など問題もあるので、男性の立場も考慮した方が良いと感じた。私は再就職をして時給制である。頑張っても何年たっても同じ時給で不平等を感じている。女性にとっては、この分野はとても気になると感じた。

○下諏訪町として何がやりたいのか、ページを開いて目がいくよう「6 計画のテーマ」や「7 基本理念」を先に持っていくようにすると良いのでは。

○21 ページの 2 番目のグラフの文章の語尾だが、とどまっている。をとどまっています。にした方が良い。全体的に丁寧な言葉なのでそうした方が柔らかい印象を持つ。高齢者に分かるよう横文字を出来るだけ少なくして欲しい。

○2・3 ページのグラフの質問が丁寧なので、その答えも質問に対してつながるよう統一した方が良い。

○計画をどの位の人が目を通してくれるか分からない。あまりにも広範囲すぎてどこから手を付けて良いのか分からない。

→（委員長）全部を理解しようとしても出来ない。ポイントポイントを絞るということも出来る。各区で委員会に出てきても浸透しきれない。全部をやりきるのは難しいので、各区で広がる場を作ってもらえれば良いと思う。

○32 ページに推進委員会の位置付けや役割などを加えて欲しい。委員の皆さんが推進委員としての役割を果たしていければ良い。

○委員も変わっていくので、どうやって広めたら良いのか。

→（委員長）10 区では、やはり広めるところがないということで、前の推進委員の時に分館に入れてもらった。分館の方も一緒になって男女共同参画について勉強したり、発表したり活動を進めてきた。

○岡谷のあいとぴあでも先日講演があったが、文化センターなどを利用して全戸に広めるなどの進め方もあるかと思う。

○男女共同参画は御柱祭がある下諏訪では難しいのでは。男女平等だからといって「御柱に乗ってくれ」と言われたら正直困る。

→（委員長）それは平等とはまた違うことだと思う。できることをお互いにやれば良いと

思う。

○そのほか、意見多数。

4 その他

○委員長 その他について事務局からお願いします。

○岩波 ありがとうございました。皆さんから頂戴しました多くの貴重なご意見を参考に、素案をまとめさせていただきます。次回の委員会ですが、正副委員長と打ち合わせをしてご通知いたします。

○米山委員長 それでは以上で議事を閉じ、本日の委員会を終了いたします。

5 閉会

○副委員長 以上をもちまして、第2回しもすわ男女共同参画推進委員会を閉会とさせていただきます。皆さん大変お疲れさまでした。